

2023年度（令和5年度）新潟法律大学校 「学校関係者評価会議」報告書

1. 学校関係者評価の実施について

この「学校関係者評価」は、学校教育法第42条・43条、及び学校教育法施行規則第66条・67条に基づき実施・作成した、「学校自己点検・評価報告書」の各項目に対して、卒業生や保護者、地域住民、関連企業・団体等からなる「学校関係者評価委員会」において、各委員の知見をいかして更なる評価をしていただき、その評価結果を学校運営の改善に生かしていくことが目的となる。各評価委員には、「学校自己点検・評価報告書」をもとに改善事項等の意見を聴取し、より実践的な教育活動に生かしていくこととする。

2. 学校関係者評価委員一覧表

評価委員	所属	役職	出欠	備考
徳本 好彦	にいがた司法書士法人、にいがた行政書士法人	代表	○	関連業界
金子 康輔	新潟駅前町親和会	会長	○	町内会
片岡 克教	元県立高校校長		○	高校校長
佐藤 仁	新潟公務員専門学校元校長、元新潟県警察		○	元校長

当校からは荒木和義学校長、若林副校長、小林教務部長、有馬就職部長が参加した。
新潟公務員専門学校との合同開催とした。

3. 委員会次第（概要）

◇実施日時 2024年6月25日（火） 15:00～16:30

◇実施場所 新潟公務員専門学校 502教室

15:00～ 開会 学校関係者評価委員会の目的について 若林

15:05～ 校舎見学

<NCOOL 学校関係者評価委員会>

15:20～

<NLEED 学校関係者評価委員会>

15:55～校長挨拶 荒木校長

16:00～NLEED 学校運営方針 若林

16:05～2023年度教育実績報告 小林教務部長

16:15～各委員会からの質疑、コメント聴取

16:30～閉会

4. 各項目に対する主な質問事項、指摘事項

① 徳本委員

- ・新潟法律大学から、当法人へインターンシップやアルバイトの学生を受け入れている。とても真面目に業務をこなしてくれるため、非常に助かっている。
- ・大学の法学部の受験者数が減少していることと連動し、行政書士、司法書士の国家資格受験者も減少している。法律分野の低迷については、同様に危惧している。
- ・少人数の学校であるが、優秀な学生も多く在籍しているため、引き続きがんばって欲しい。

② 金子委員

- ・在籍している学生は、何を目標に学んでいる者が多いのか？

小林⇒ 多くは公務員を目指している。他の一部の学生は民間企業への就職を考えている。純粋に法律を専門的に使った企業への就職を目指している学生は、まだ少ない。今年度、初めて企業内で法務を扱う部署へ内定が決まった学生が出た。法律を扱う業務への就業については、まだ発展途上となっている。

以上